

令和6年2月20日

保護者 様

名古屋市立宮前小学校長
稲本智行

令和6年度の本校の取組について

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

さて、名古屋市教育委員会から保護者の皆様へ「小学校・中学校の取組について 教育委員会から保護者・地域の皆様へのお願い」（別紙）にご協力いただくよう、依頼がありました。また、教育委員会から各学校には、この内容を踏まえた取組の推進に努めるよう通知がありました。

つきましては、別紙ちらしをお配りするとともに、本校では下記の通り取り組むことといたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

短縮授業日	本年度同様年度始めの短縮日程を実施するとともに、学期始め・学期末などに、4時間授業日を設定します。
学校行事	これまでも、学校行事の精選と運営方法の見直しに取り組んできました。そのため、内容等に大きな変更はありませんが、今後も、授業時間の確保、子どもたちの達成感、職員の負担軽減を踏まえて計画をしていきます。
日課表	今年度と同様です。登下校時間を含め変更の予定はありません。
時間外の電話対応等	来年度（令和6年4月1日）より、 <u>電話・来客対応を7時45分～17時30分まで</u> とします。欠席・遅刻等の連絡は、きずなネット（当日の朝8:10まで入力可能）をご利用ください。

※ 来年度の週間課程や主な年間行事予定等につきましては、後日、学校だよりでお知らせします。

小学校・中学校の取組について 教育委員会から保護者・地域の皆様へのお願い

子どもたちの笑顔のために
学校における働き方改革へより一層のご協力をお願いします

保護者・地域の皆様には、学校へのご理解・ご協力を賜りありがとうございます。
学校は、子どもたちが自分らしく、幸せに生きていくための学びの場です。教職員は、日々子どもたちが充実した時間を過ごせるよう、子どもが登校する前や下校した後も、授業の質を高めるための授業研究や教材の準備、ノートの点検やテストの採点、また保護者の方との連絡・相談など、多くの時間を必要としています。

こうした中で、教職員の長時間勤務の縮減が大きな課題となっています。本市では、上限時間（1か月45時間・1年360時間）を超過する教職員が54.3%（令和4年度）と全教職員の半数を超える事態が続いており、早急な対応が必要となっています。

子どもたちの学びを支える教職員が心身ともに良好な状態の中で、人間性や創造性を高め、よりよい教育を行うことができるよう保護者・地域の皆様のお力添えが必要です。子どもたちの笑顔のために、ぜひ皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。



すでに取り組んでいる学校もございますが、各学校の実情に応じて検討し、実施してまいります。

★4時間授業日

教育課程の工夫により、年度始めなどに4時間授業日を設けます。

★学校行事

教育的意義を踏まえた学校行事の精選と運営方法の見直しを図ります。

★中学校部活動

国の部活動に関するガイドラインを踏まえ、中学校部活動の見直しを進めます。

教員の勤務時間は、
8時15分から16時45分です。



★日課表

登下校時間を含めた日課表の見直しを進めます。

★時間外の電話対応等

夕方・夜間など時間外に、電話対応を行わない時間帯を設定するようにします。
欠席・遅刻連絡のデジタル化を進めます。

